



発行:新しいステージの神戸をつくる会

Oct. 2024 第21号

651-0084

神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新芙蓉ビル内

TEL:078-222-0155

FAX:078-222-0166

Vol
21

KOBE 上昇気流

海と山が育むグローバル貢献都市の実現
～人口減少時代における持続可能なまちづくり～



みなさまのご支援により、3期目の市政を担わせていただくから、もうすぐ3年になろうとしています。これまでのご支援ご協力に、心から御礼を申し上げます。

本市では、真に持続可能な社会を目指した、SDGsの取組みを進めています。里山や地域固有の生物多様性の保全、下水から肥料原料のリンを取り出す「こうべ再生リン」、藻類や海洋生物にCO₂を吸着させる「ブルーカーボン」などを展開しています。

また、市長就任から力を入れてきた三宮駅周辺の再整備では、バスターミナルを備えた高層ビルの工事が進められ、市役所の新庁舎やJR三ノ宮駅の新ビルの建設に向けた準備が始まっています。また、今年6月には磯上公園の再整備が完了しました。三宮周辺では、高層タワーマンションの建設を制限し、居

住するのではなく、働く場所として、そして買い物や食事、アートシーンなど非日常を楽しめる空間にしていく考えです。

一方で、JRや私鉄、市営地下鉄といった鉄道網が整っているこの街の特性を生かして、名谷駅、西神中央駅、垂水駅などでは、駅周辺の再整備を進めています。買い物などを楽しむだけでなく、職住近接の働く場のような新しい活用も広がっています。

裏面には、これらをはじめ、この1年の主な取組みを紹介させていただきます。これからも、神戸市政へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2024年10月

ひさもと きぞう
神戸市長 久元喜造

この1年間の主な取り組み



2023年12月

神戸海軍操練所の遺構発見



26日 江戸幕府が1864年に開設した「神戸海軍操練所」の遺構が、中央区の旧居留地の南で発見されました。

海軍操練所は、神戸を開港したとき、京都の朝廷を守衛できるように、勝海舟の提言を受けて、大阪湾の防衛体制を強化する海軍拠点として開設されました。ここでは、海軍を指揮する士官を育成するだけでなく、艦船が係留できる港、船の建造や修理ができる造船所がありました。坂本龍馬や陸奥宗光たち後の倒幕派もここで学んだことから、日本近代化の礎になったとされています。

この遺構の保存を前提にしながら、この土地の有効活用を検討していきます。

2024年1月

能登半島地震の被災地支援

3日～ 元日に能登半島を襲った地震では、全国各地の自治体から被災した能登の自治体への支援が行われました。

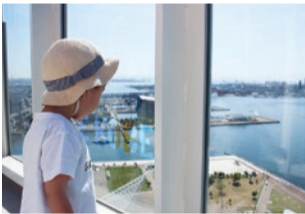
神戸市は1月3日に消防・水道の職員を派遣したのを皮切りに、国の調整のもと、指定都市市長会や関西広域連合と連携して、対口支援先(カウンターパート支援先)である石川県珠洲市を中心に職員を派遣するなど支援を行いました。

3月末までに計931名の職員を派遣するとともに、4月からは6名の職員を1年の任期で珠洲市と穴水町に長期派遣しています。今後も被災地のニーズを踏まえながら、復興に向けた支援を行う方針です。



2024年4月

ポートタワーの営業再開



26日 神戸ポートタワーが開業したのは1963年(昭和38年)11月21日のことです。歳月を重ねるうちに施設の老朽化が目立つようになったため、いったん休業をして、耐震補強を含めた大規模な改修工事をするようになりました。

リニューアルしたポートタワーでは、最上部に屋上デッキを新設。ガラス張りのオープンエア空間となり、港の風を感じながら市街地や六甲の山々の眺望が楽しめます。

さらに、神戸のグルメを楽しめるカフェ&バーができ、営業時間も23時まで拡大したことで、ナイトタイムエコノミーの活性化に寄与することが期待されています。

2024年5月

KOBE2024世界パラ陸上の開催

17日～25日 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で、「KOBE2024世界パラ陸上競技大会」が開催されました。

この大会には、104の国と地域から1,073人が参加。約1,500名のボランティアに運営が支えられながら、9日間で延べ8万4千人が観戦することになりました。

また、兵庫県内にある小学校・中学校・高校・特別支援学校、計129校から28,249人が競技会場に「学校観戦会」として招待され、普段では味わえないパラアスリートのパフォーマンスを固唾をのんで見守りました。



©Kobe 2024/WPA

2024年6月

神戸須磨シーワールド開業

1日 須磨海浜公園に新たな水族館「神戸須磨シーワールド」が開業しました。

この地に最初の水族館が開業したのは1957年(昭和32年)です。その後継となった「須磨海浜水族園」は「スマスイ」という愛称で長年にわたって親しまれました。ですが、年月にはあがらず施設の老朽化により解体リニューアルすることになりました。

新しい水族館で注目を浴びているのは、西日本で唯一となる2頭のシャチによるパフォーマンスや13頭のイルカによる迫力ある演技です。一方で、スマスイ時代にいた魚・生き物の9割以上が引き続きシーワールドでも展示されています。

新たにホテルも併設され、神戸の観光の新しい目玉になることが期待されています。



2024年8月

北須磨支所の移転リニューアル



13日 須磨区役所の北須磨支所が、これまで支所が入居していた建物の隣に新しく完成したビルに移転しました。

市営地下鉄・名谷駅付近では、2021年3月に大丸須磨店の中にできた「名谷図書館」を皮切りに、大丸前の広場がリニューアルされ、商業ビル「tete名谷」

も新設されました。

新しい北須磨支所ビルは、地上7階建てで支所の機能だけでなく、親子づれが無料で遊べる「おやこふらっとひろば名谷」を2階に開設。3階には乳幼児向けの健診スペースができるなど、子育てを大事にしたいという市の方針に合わせたものになっています。

2024年9月

高校生定期代補助の開始

1日 今年9月から、神戸市に住む高校生などが神戸市内の高校等に通うときの通学定期代の全額を補助することにしました。対象者は約2万人になります。

神戸市では2年前から定期券代の一部補助を始めました。高額な通学費の負担軽減のために、月に1万2,000円を超えた定期代の2分の1を補助してきました(本制度は現在も継続中)。

一方で、大阪府で高校の授業料の無償化が決まり、兵庫県と大きな負担差が生じます。すると、神戸市内の高校に通う生徒の減少、さらに子育て世代が神戸から流出していく懸念があります。そこで、本市で取り組める対策として、通学費の無償化に舵を切ることになりました。



公式Webサイトをご覧ください

久元きぞう 検索



市長自らが仕事のこと、日ごろ感じていること、など発信しています!!

メールマガジンを
お読みください



ブログ



久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。
既に会員の方は、新たに会員になっていただける方をご紹介します。

ご連絡は

①お電話で 078-222-0155

又は

②ネットで 久元きぞう

検索

